

平成30年度（令和元年度実施）事務事業評価表【C表】

事業整理番号 0603 - 05

事務事業名	資源回収事業	担当組織	環境清掃部	ごみ減量推進課
-------	--------	------	-------	---------

事業特性									
事業開始年度	26年度以前	事業終了年度		計画／一般	計画事業	計画事業No.	5 - 3 - 1 - 2		
単独／補助	区単独事業	運営形態	全部業務委託	公民連携		30年度事業整理番号	0603	- 05	
事業を構成する	① 資源回収事業経費			②					

政策体系（現基本計画）									
地域づくりの方向	みどりのネットワークを形成する環境のまち			施策の目標	ごみの発生抑制、使わなくなったものの再使用、ごみと資源の分別徹底について、より一層の普及啓発を行います。				
政策	ごみ減量・清掃事業の推進								
施策	_3Rの推進【重点】		施策番号	5-3-1	関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標				

1. 事業の概要・目標と現状の把握

事業の目標 （どのような状態にしたいか）	区民の分別排出の協力のもと、質の高いリサイクルを実現し、限りある資源の有効活用を図る。 また、回収した資源は売却し、区の歳入とする。								
事業の対象 （対象となる人・物）	区民								
事業の概要 （事業の活動内容・進め方）	ごみの減量を図るため、8品目12分別による資源回収（週2回）を実施している。								
基礎データ （事業のための資産・利用者等の情報）	8品目（古紙・牛乳パック・古布・びん・かん・ペットボトル・プラタイプのプラ容器・トレイ） 12分別（新聞・雑誌・段ボール・厚紙製の箱・包装紙・牛乳パック・古布・びん・かん・ペットボトル・プラタイプのプラ容器・トレイ）								
事業の取組実績	30年度の取組内容 （30年度に実施した具体的な業務内容）	平成30年4月から池袋駅周辺繁華街地区での資源回収を週2回開始した。							
	活動指標 （事業の実施状況）	指標	目指す方向性	単位	28年度（実績）	29年度（実績）	30年度目標（計）	30年度（実績）	元年度（計画値）
		① 資源回収量（可燃系）	→	t	6,089	5,763	6,120	5,453	5,196
		② 資源回収量（不燃系）	→	t	4,991	4,911	5,000	4,768	4,700
	③ 資源回収・ごみ収集啓発用冊子作成	↗	冊	12,000	200,000	148,000	10,500	200,000	
	指標の説明	①新聞、雑誌、段ボール、厚紙製の箱、包装紙、牛乳パック、古布類の可燃系資源の回収量 ②びん、かん、ペットボトル、トレイ、プラスチック容器（ボトルタイプ）の不燃系資源の回収量 ③啓発用冊子「豊島区 資源回収・ごみ収集のお知らせ」の印刷数							
事業目標の達成状況	成果指標 （事業目標の達成度）	指標	目指す方向性	単位	28年度（実績）	29年度（実績）	30年度目標（計）	30年度（実績）	元年度（計画値）
		① 資源売り払い代金（可燃系）	→	千円	57,579	59,440	59,500	48,219	45,946
		② 資源売り払い代金（不燃系）	→	千円	53,264	66,601	66,700	74,212	73,153
		③ ごみの減量（年間ごみ量）	↘	t	56,395	56,631	54,308	55,166	53,459
	指標の説明	①可燃系資源の売り払い代金（千円未満四捨五入） ②不燃系資源の売り払い代金（千円未満四捨五入） ③可燃・不燃・粗大ごみの収集量合計							

2. 事業費の推移

単位 （金額の項目：千円） （人数の項目：人）	28年度	29年度	30年度		令和元年度		
	決算	決算	予算	決算	予算	増減（30決算比）	
事業費	A	535,547	548,280	553,682	515,461	553,439	37,978
人件費	【正規（人数）】	(0.80)	(0.80)	—	(2.00)	(2.00)	—
	【非常勤（人数）】			—			—
人件費 B	B	6,800	6,800	—	17,000	17,000	0
事業費（人件費含む）	C=A+B	542,347	555,080	—	532,461	570,439	37,978
財源内訳	国、都支出金						0
	使用料・手数料	D					0
	地方債・その他		110,844	126,041	126,303	122,431	139,283
一般財源	E=C-D	431,503	429,039	—	410,030	431,156	21,126

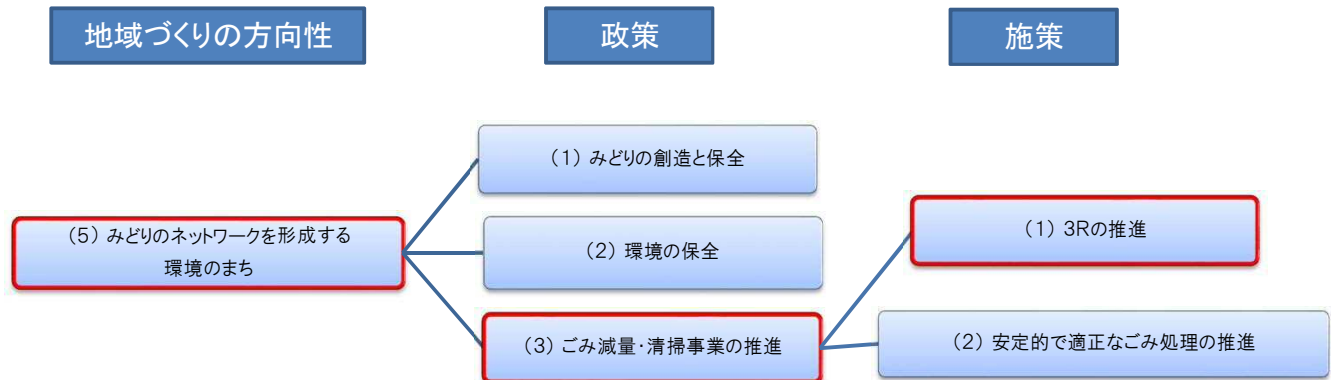
3. これまでの事務事業評価を踏まえた対応			
直近の最終評価	A:現状維持	直近の詳細評価対象事業年度	29年度
直近の最終評価に基づいた具体的な対応、改善策(直近の評価表から転記)	限りある資源の有効活用を図るため、新たな品目の資源化等について検討を進めていく。		
上記対応、改善策の進捗状況	平成30年4月から池袋駅周辺繁華街地区での資源回収を開始した。		

4. 現状の評価			
必要性	【事業に対する需要の変化】 事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対する需要は減少していないか。	b:減少していない	
	【区が実施する必要性】 他自治体のほか、民間事業者が同様のサービスを提供している事例がないか。	b:ある	
	評価の理由	中央防波堤最終処分場の残容量がひっ迫しており、今後もより一層、23区が共同してごみの減量を実現させていく必要がある。	
有効性	【成果】 活動結果(活動指標等)に対し、事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか。	a:上がっている	
	評価の理由	分別排出された資源は、中間処理施設で圧縮・溶融等の減容化処理の後、国内で再商品化されている。	
効率性	【コストの見直し】 現状と同等または現状より少ない経費で、区民サービスや職員・組織の質の向上を図る余地があるか。	a:更なる改善の余地はない	
	【民間活用の可能性】 業務委託や指定管理者制度などの民間活用によりコストを削減できる余地があるか。	a:更なる改善の余地はない	
	【事務の見直し】 事業の成果を維持しながら、事務手続きの見直しなどによる事務改善の余地があるか。	b:更なる改善の余地はある	
	評価の理由	外部委託を実施し、効率的な配車台数と回収ルートで回収作業を行い、適正な処理を行っている。	
適正性	【法令順守】 事業に直接関係する法令および個人情報保護、労務関係等の関連法規について理解したうえで、適正に事業を行っているか。	a:適正に行っている	
	【委託事業者との調整】 業務委託等を行っている場合、履行確認およびモニタリング等の実施により、適正な運営が確保されているか。	a:適正に行っている	
	評価の理由	受託事業者の履行状況を確認し、運営の適正を確保している。	
事業の施策貢献度		★★★	

5. 総合評価			
今後の事業の方向性 (現状の評価および施策評価を踏まえた評価)	S:拡充 A:現状維持 A':改善・継続 B:改善・見直し C:縮小 D:終了	A':改善・継続	
Dの場合		→	終了の理由
《上記判断の説明》			
ごみと資源を適正に分別し、リサイクルを進めることはごみの減量のために不可欠であり、さらに効率的な資源回収について検討していく必要がある。			
《上記の判断に基づいた今後の具体的な対応・改善策》			
資源回収量等の推移を注視しつつ、回収品目の見直しについて検討していく。			

資源回収事業経費

1. 事業の位置付け【基本計画(2016-2025)における位置付け】



2. 事業の概要

事業概要	単独・補助	区単独事業	事業開始年度	平成20年度
	運営形態	全部業務委託	他区の状況	23区中23区実施
これまでの経緯	・平成20年10月 資源回収開始（週2回8品目12分別） ・平成30年4月 池袋駅周辺繁華街地区の資源回収開始			

3. 公会計情報

①貸借対照表

(千円)

勘定科目	29年度	30年度	増減	勘定科目	29年度	30年度	増減
資産	0	0	—	負債	0	0	—
土地	0	0	—	地方債	0	0	—
建物	0	0	—	その他負債	0	0	—
減価償却累計額	0	0	—	純資産	0	0	—
その他資産	0	0	—	純資産	0	0	—

資産科目の詳細

資産計上なし

負債科目の詳細

負債計上なし

②行政コスト計算書

(千円)

勘定科目	29年度	30年度	増減	勘定科目	29年度	30年度	増減
コスト	566,713	532,973	△ 33,740	収入	126,041	122,362	△ 3,679
人にかかるコスト	18,433	17,512	△ 921	国・都支出金	0	0	0
業務にかかるコスト	548,280	515,461	△ 32,819	使用料・手数料	0	0	0
給付にかかるコスト	0	0	0	その他収入	126,041	122,362	△ 3,679
減価償却費	0	0	0	純行政コスト	440,672	410,611	△ 30,061

コストの詳細

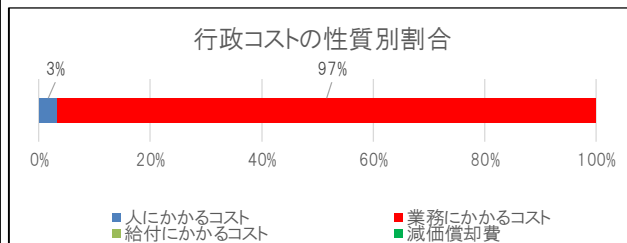
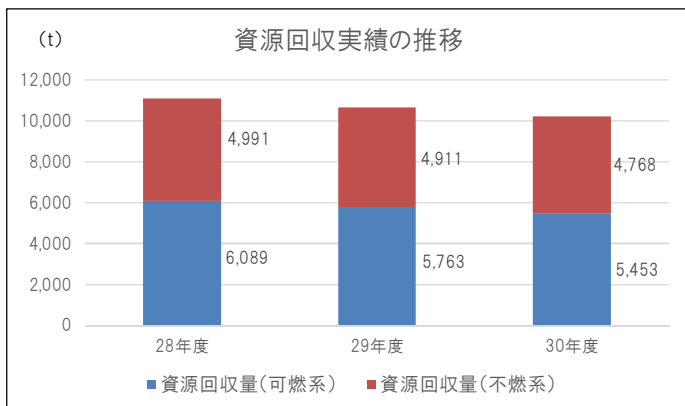
【人にかかるコスト】本事業に携わる職員の給料、手当、引当金等
 【業務にかかるコスト】資源ごみ回収に係る委託料

収入の詳細

【その他収入】回収資源の売払い収入

4. 行政サービスの実績とコスト分析

取組事業の実績	指標	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (目標値)	30年度 (実績)	元年度 (計画値)
	資源回収量(可燃系)	t	6,613	6,089	5,763	6,120	5,453	4,700
	資源回収量(不燃系)	t	5,120	4,991	4,911	5,000	4,768	5,196



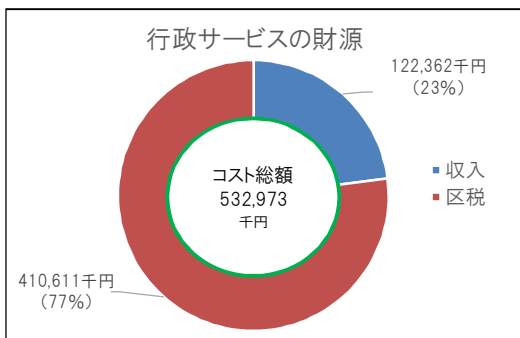
事業に携わる職員数

	28年度	29年度	30年度
正規職員	—	1.0人	1.2
再任用職員	—	0人	0人
非常勤職員	—	0人	0人
再雇用職員	—	0人	0人
臨時職員	—	0人	0人

資産(土地・建物)の分析

資産の概要		
資産計上なし		
資産老朽化比率		(千円)
取得価格(A)	建物取得時に支払った額	—
減価償却累計額(B)	これまでの利用で償却した建物価格	—
現存価格(A-B)	現時点で残存する建物価格	—
資産老朽化比率(B/A)	当建物の老朽化の進み具合	—

5. 行政サービスの財源と単位当たりコスト



(円)

指標名	単位	年度	実績	単位当たりコスト
資源回収量(可燃系・不燃系)	t	28年度	11,080	—
		29年度	10,674	41,285
		30年度	10,221	40,173

他自治体のコスト情報

【北区】びん・缶回収事業費
 総事業費/びん・缶回収量※2→ 255,992千円/3,561トン=71,888円

※1 北区HP掲載「平成30年度 事務事業評価シート」より
 ※2 北区は不燃系資源(びん・缶)のみ回収。
 北区の集積所数は5,200か所。(豊島区は2万2000か所)

6. 公会計情報から見える課題と今後の取組について

資源回収事業は自治体によって回収品目・回収箇所数が異なるため、他自治体との単純比較は行えない。
 不燃系資源回収の委託について、30年度から5年度間の契約にあたりプロポーザルにより委託業者を選定したことにより、平成30年度の業務にかかるコストが削減した。
 可燃系資源の回収量が減少傾向にあるが、直ちに集積所箇所数の削減や収集頻度を減らすまでには至っておらず、資源回収委託料(行政コストの97%)については現行の事業規模を維持していく以上コスト削減の余地は少ない。そのため、単位当たりコストは今後増加していくことが予測される。
 今後も限りある資源の有効活用を図るため、新たな品目の資源化などの検討を進めていく必要があるが、検討に当たっては費用対効果を精査するなど事業コストに十分留意しながら進めていく。

平成30年度（令和元年度実施）事務事業評価表【C表】

事業整理番号 0604 - 04

事務事業名	廃棄物収集作業	担当組織	環境清掃部	豊島清掃事務所
-------	---------	------	-------	---------

事業特性										
	事業開始年度	26年度以前	事業終了年度		計画／一般	計画事業	計画事業No.	5 - 3 - 2 - 1		
	単独／補助	区単独事業	運営形態	一部業務委託	公民連携		30年度事業整理番号	0604	- 02	
事業を構成する 予算事業	①	廃棄物収集作業経費			②					
	③				④					
	⑤				⑥					

政策体系（現基本計画）										
地域づくりの方向	みどりのネットワークを形成する環境のまち				施策の目標	最終処分場の延命化や環境負荷の低減に向けて、安定的で適正なごみ処理を効率的に推進します。				
政策	ごみ減量・清掃事業の推進									
施策	安定的で適正なごみ処理の推進			施策番号	5-3-2	関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標				

1. 事業の概要・目標と現状の把握									
事業の目標 （どのような状態にしたいか）	効率的に安定したごみの収集運搬を行い、廃棄物の適正処理と環境負荷の低減を図る。								
事業の対象 （対象となる人・物）	区民								
事業の概要 （事業の活動内容・進め方）	効率的で安定した廃棄物の収集運搬を行う。								
基礎データ （事業のための資産・利用者等の情報）	年度末現在の住民登録者数 28年度:284,921人 29年度:287,623人 30年度:289,573人								
事業の取組実績	30年度の取組内容 （30年度に実施した具体的な業務内容）	<p>【可燃ごみ収集体制】 月・火・水曜日・・・小型プレス車20組22台 + 大型車2台、小型特殊車3台、軽ダンプ車6～10台体制で収集 木・金・土曜日・・・小型プレス車15組15台 + 大型車2台、小型特殊車3台、軽ダンプ車6～9台体制で収集 直営車両は10台で収集。（4台は予備車） 不足分は雇上会社からの配車に対応。</p> <p>【不燃ごみ収集体制】 雇上（作業員付）11～12台体制で収集</p>							
	活動指標 （事業の実施状況）	指標	目指す方向性	単位	28年度（実績）	29年度（実績）	30年度目標（計）	30年度（実績）	元年度（計画値）
	① 可燃ごみの収集回数	→	回/週	2	2	2	2	2	
	② 不燃ごみの収集回数	→	回/月	2	2	2	2	2	
③									
指標の説明	区内全域の集積所収集回数（①可燃ごみ週2回、②不燃ごみ月2回）								
事業目標の達成状況	成果指標 （事業目標の達成度）	指標	目指す方向性	単位	28年度（実績）	29年度（実績）	30年度目標（計）	30年度（実績）	元年度（計画値）
	① 可燃ごみ量	↘	トン	52,349	52,435	49,915	51,268	51,268	
	② 不燃ごみ量	↘	トン	2,034.0	2,057.0	2,057.0	1,751.0	1,745.0	
	③ 地域実態に応じたごみの効率的な収集・運搬が行われている	↗	（満足度が高い）%	46	47	47	48	49	
指標の説明	③「協働のまちづくりに関する区民意識調査」より								

2. 事業費の推移								
単位 （金額の項目：千円 人数の項目：人）		28年度	29年度	30年度		令和元年度		
		決算	決算	予算	決算	予算	増減 （30決算比）	
事業費	A	406,618	408,627	529,379	529,377	568,474	39,097	
人件費	【正規（人数）】	(69.00)	(69.00)	—	(69.00)	(69.00)	—	
	【非常勤（人数）】	(10.00)	(10.00)	—	(10.00)	(10.00)	—	
	人件費 B	B	622,500	622,500	—	622,500	622,500	0
事業費（人件費含む）	C=A+B	1,029,118	1,031,127	—	1,151,877	1,190,974	39,097	
財源内訳	国、都支出金		0	0	0	0	0	
	使用料・手数料	D	180,856	191,049	201,492	192,542	203,492	10,950
	地方債・その他		3,994	4,033	4,885	4,081	4,872	791
	一般財源	E=C-D	844,268	836,045	—	955,254	982,610	27,356

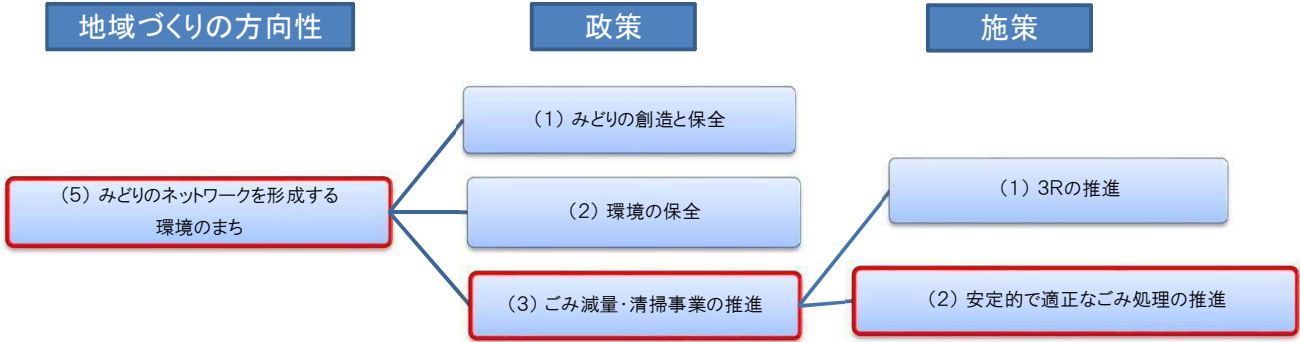
3. これまでの事務事業評価を踏まえた対応			
直近の最終評価	A':現状維持(経過観察)	直近の詳細評価対象事業年度	29年度
直近の最終評価に基づいた具体的な対応、改善策(直近の評価表から転記)	収集作業員の不足を臨時職員等で対応している、他区のように公社設立・委託等も視野に検討を進める。		
上記対応、改善策の進捗状況	池袋駅周辺繁華街地区の資源回収導入等、より効率的な収集方法とごみの減量が進んでいる。なお、30年度におけるごみ処理量の減少率は23区中でトップとなり、最終処分場の延命・環境負荷の低減に大きく貢献した。全国的な人手不足の影響により収集体制を維持することが困難になっており、雇上車両の拡充等を計画している。		

4. 現状の評価			
必要性	【事業に対する需要の変化】 事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対する需要は減少していないか。	b:減少していない	
	【区が実施する必要性】 他自治体のほか、民間事業者が同様のサービスを提供している事例がないか。	a:ない	
	評価の理由	法に基づく区の責務である。	
有効性	【成果】 活動結果(活動指標等)に対し、事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか。	a:上がっている	
	評価の理由	区民生活に適応した収集体制が確保されている。	
効率性	【コストの見直し】 現状と同等または現状より少ない経費で、区民サービスや職員・組織の質の向上を図る余地があるか。	a:更なる改善の余地はない	
	【民間活用の可能性】 業務委託や指定管理者制度などの民間活用によりコストを削減できる余地があるか。	a:更なる改善の余地はない	
	【事務の見直し】 事業の成果を維持しながら、事務手続きの見直しなどによる事務改善の余地があるか。	b:更なる改善の余地はある	
	評価の理由	職員体制に合わせて雇上化を拡大している。	
適正性	【法令順守】 事業に直接関係する法令および個人情報保護、労務関係等の関連法規について理解したうえで、適正に事業を行っているか。	a:適正に行っている	
	【委託事業者との調整】 業務委託等を行っている場合、履行確認およびモニタリング等の実施により、適正な運営が確保されているか。	a:適正に行っている	
	評価の理由	個人情報の保護及び法令順守については適正であり、これまで問題は発生していない。	
事業の施策貢献度		★★★	

5. 総合評価							
今後の事業の方向性 (現状の評価および施策評価を踏まえた評価)	S:拡充	A:現状維持	A':改善・継続	B:改善・見直し	C:縮小	D:終了	A:現状維持
Dの場合 終了の理由							
《上記判断の説明》							
<p>人口が増加し、また集積所も増加している中、ごみ量は23区で最も大幅な減少率となっている。一方、技術系職員の退職不補充方針のもと効率的な職員配置と臨時職員や雇上車両の活用により質の高い収集体制を維持している。</p>							
<p>《上記の判断に基づいた今後の具体的な対応・改善策》</p>							
<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック・パラリンピックの開催を控え、池袋駅周辺繁華街の美観を向上させることが区の清掃事業にも求められている。 ・多くの業種での人手不足の影響を受け雇上経費も増加しているが、ごみの種別ごとに効率的な収集を実施するため車付雇上の車種・台数の見直しを行う。 							

廃棄物収集作業経費

1. 事業の位置付け【基本計画(2016-2025)における位置付け】



2. 事業の概要

事業概要	単独・補助	区単独事業	事業開始年度	12年度
	運営形態	一部業務委託	他区の状況	23区中23区実施
これまでの経緯	<ul style="list-style-type: none"> 平成11年6月 豊島清掃工場竣工 平成12年4月 清掃事業区移管、東京二十三区清掃一部事務組合設置 平成21年3月 廃プラスチックのサーマルリサイクル本格実施 平成30年4月 池袋繁華街エリアの品目別曜日収集開始 			

3. 公会計情報

①貸借対照表

(千円)

勘定科目	29年度	30年度	増減	勘定科目	29年度	30年度	増減
資産	0	0	—	負債	0	0	—
土地	0	0	—	地方債	0	0	—
建物	0	0	—	その他負債	0	0	—
減価償却累計額	0	0	—	純資産	0	0	—
その他資産	0	0	—	純資産	0	0	—

資産科目の詳細	負債科目の詳細
資産計上なし	負債計上なし

②行政コスト計算書

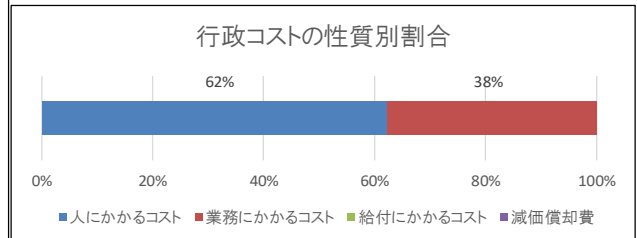
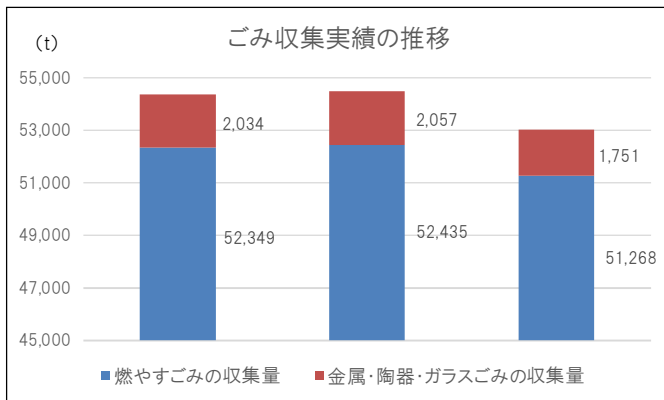
(千円)

勘定科目	29年度	30年度	増減	勘定科目	29年度	30年度	増減
コスト	1,116,161	1,211,101	94,940	収入	202,654	196,622	△ 6,032
人にかかるコスト	788,041	754,271	△ 33,770	国・都支出金	0	0	0
業務にかかるコスト	328,120	456,830	128,710	使用料・手数料	198,621	192,541	△ 6,080
給付にかかるコスト	0	0	0	その他収入	4,033	4,081	48
減価償却費	0	0	0	純行政コスト	913,507	1,014,479	100,972

コストの詳細	収入の詳細
<p>【人にかかるコスト】本事業に携わる職員の給料、手当、引当金等</p> <p>【業務にかかるコスト】廃棄物収集・運搬に係る請負金等</p>	<p>【使用料・手数料】ごみ処理券手数料収入等</p> <p>【その他収入】臨時職員に係る社会保険料の本人負担分</p>

4. 行政サービスの実績とコスト分析

取組実績	指標	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (目標値)	30年度 (実績)	元年度 (計画値)
	燃やすごみの収集	回/週	2	2	2	2	2	2
	金属・陶器・ガラスごみの収集	回/月	2	2	2	2	2	2
	燃やすごみの収集量	t	53,224	52,349	52,435	49,915	51,268	49,109
	金属・陶器・ガラスごみの収集量	t	2,071	2,034	2,057	2,429	1,751	2,398



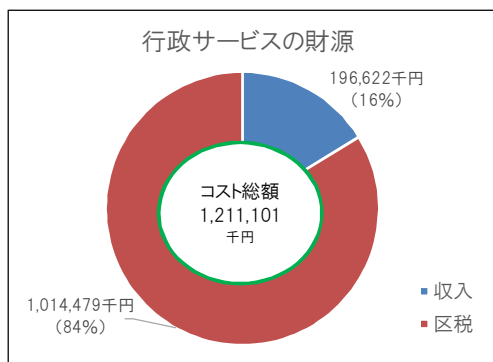
事業に携わる職員数

	28年度	29年度	30年度
正規職員	—	68.0人	68.0人
再任用職員	—	1.0人	1.0人
非常勤職員	—	0人	0人
再雇用職員	—	0人	0人
臨時職員	—	10.0人	10.0人

資産(土地・建物)の分析

資産の概要	
資産(土地・建物)計上なし	
資産老朽化比率	(千円)
取得価格(A)	建物取得時に支払った額
減価償却累計額(B)	これまでの利用で償却した建物価格
現存価格(A-B)	現時点で残存する建物価格
資産老朽化比率(B/A)	当建物の老朽化の進み具合

5. 行政サービスの財源と単位当たりコスト



指標名	単位	年度	実績	単位当たりコスト
ごみの収集量 (燃やすごみ、金属・陶器・ガラスごみの合計)	t	28年度	54,383	—
		29年度	54,492	16,764
		30年度※	53,019	17,660
		28年度		
		29年度		
		30年度		

※30年度は他事業からの予算流用約70,000千円があるが、本経費は別用途に要するコストのため、単位当たりコストの算出上は当該経費を除外している。

他自治体のコスト情報

【北区】清掃事業費(ごみ収集)
 総事業費/ごみ収集量 → 2,606,945千円/64,203トン = 40,605円

※ 北区HP掲載「平成30年度 事務事業評価シート」より

6. 公会計情報から見える課題と今後の取組について

参考自治体である北区との単純比較はできないが、本区が極めて人口密度が高いこと、また、本区のほぼ中央に豊島清掃工場があることにより最小限の人員機材で効率的な収集運搬が可能なおかげで、本区の事業コストが低く抑えられているものと考えられる。

30年度から池袋駅周辺地域にて燃やすごみ、金属・陶器・ガラスごみ、可燃・不燃資源の曜日別収集を開始したこと、これまで継続してきた事業系ごみの民間収集移行指導により、ごみの排出量の抑制を図ってきている。

こうした取り組みによりごみの収集量は減少傾向にあるが、一方で事業コストの大半が人件費などの固定費であることから、単位当たりコストは29年度と比べて増加している。

行政コストの性質別割合では技能系職員の退職不補充方針のもと臨時職員や雇上車両の活用により、人にかかるコストは前年度より9ポイント低下し62%となっている。

今後、技能系職員は、平成30年度から令和5年度までに30%が、10年度までに66%が定年退職を迎えるため、技能系職員の知識・技術をどう継承していくかが課題である。

平成30年度（令和元年度実施）事務事業評価表【C表】

事業整理番号 0604 - 05

事務事業名	粗大ごみ収集	担当組織	環境清掃部	豊島清掃事務所
-------	--------	------	-------	---------

事業特性										
	事業開始年度	26年度以前	事業終了年度		計画／一般	一般事業	計画事業No.			
	単独／補助	区単独事業	運営形態	全部業務委託	公民連携		30年度事業整理番号	0604	-	03
事業を構成する 予算事業	①	粗大ごみ収集経費			②					
	③				④					
	⑤				⑥					

政策体系（現基本計画）										
地域づくりの方向	みどりのネットワークを形成する環境のまち				施策の目標	区民・事業者・区が適切な役割分担のもと一体となって、ごみの減量を推進します。				
政策	ごみ減量・清掃事業の推進									
施策	安定的で適正なごみ処理の推進			施策番号	5-3-2	関連する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標				

1. 事業の概要・目標と現状の把握									
事業の目標 （どのような状態にしたいか）	区民の不要な粗大ごみを速やかに収集することにより、環境を保全し公衆衛生の向上を図る。								
事業の対象 （対象となる人・物）	区民								
事業の概要 （事業の活動内容・進め方）	区民から排出される粗大ごみを委託により収集・運搬する。								
基礎データ （事業のための資産・利用者等の情報）	年度末現在の住民登録者数 28年度:284,921人 29年度:287,623人 30年度:289,573人								
事業の取組実績	30年度の取組内容 （30年度に実施した具体的な業務内容）	粗大ごみが増加する中、これまで同様、区民の粗大ごみ収集依頼から1週間程度で収集できるよう収集車両と積替え作業人員を拡充した。粗大ごみに含まれる金属分を取り出して資源化している。高齢者等からの運び出し依頼増加への対応。世田谷・目黒・品川・練馬の4区を除く19区が共同で委託化して運営している。							
	活動指標 （事業の実施状況）	指標	目指す方向性	単位	28年度（実績）	29年度（実績）	30年度目標（計）	30年度（実績）	元年度（計画値）
	①	粗大ごみ収集件数	→	件	90,502	99,993	87,000	102,963	100,000
	②	粗大ごみ収集個数	→	個	242,145	259,437	240,000	259,074	250,000
③									
指標の説明									
事業目標の達成状況	成果指標 （事業目標の達成度）	指標	目指す方向性	単位	28年度（実績）	29年度（実績）	30年度目標（計）	30年度（実績）	元年度（計画値）
	①	粗大ごみ収集量	→	トン	2,013	2,405	1,964	2,429	2,142
	②	不法投棄件数	↘	件	4,922.0	4,989.0	5,000.0	4,419.0	4,500.0
	③	地域実態に応じたごみの効率的な収集・運搬が行われている	↗	(満足度が高い)%	46	47	47	48	49
指標の説明	③「協働のまちづくりに関する区民意識調査」より								

2. 事業費の推移								
単位 （金額の項目：千円 人数の項目：人）		28年度	29年度	30年度		令和元年度		
		決算	決算	予算	決算	予算	増減 (30決算比)	
事業費	A	215,683	228,720	233,521	233,519	239,249	5,730	
人件費	【正規(人数)】	(5.00)	(5.00)	—	(5.00)	(5.00)	—	
	【非常勤(人数)】	(0.00)	(0.00)	—	(0.00)	(0.00)	—	
	人件費 B	B	42,500	42,500	—	42,500	42,500	0
事業費(人件費含む)	C=A+B	258,183	271,220	—	276,019	281,749	5,730	
財源内訳	国、都支出金	0	0	0	0	0	0	
	使用料・手数料	D	68,608	76,808	82,455	75,793	84,455	8,662
	地方債・その他		49,824	47,015	55,739	49,451	59,215	9,764
	一般財源	E=C-D	139,751	147,397	—	150,775	138,079	-12,696

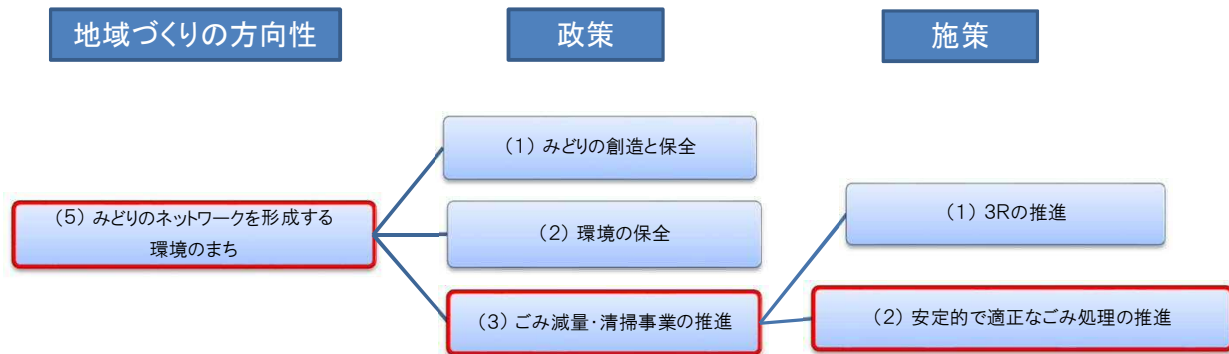
3. これまでの事務事業評価を踏まえた対応			
直近の最終評価	A:現状維持	直近の詳細評価対象事業年度	27年度
直近の最終評価に基づいた具体的な対応、改善策 (直近の評価表から転記)			
上記対応、改善策の進捗状況			

4. 現状の評価			
必要性	【事業に対する需要の変化】 事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対する需要は減少していないか。	b:減少していない	
	【区が実施する必要性】 他自治体のほか、民間事業者が同様のサービスを提供している事例がないか。	a:ない	
	評価の理由	事業実施が法律によって義務付けられている。	
有効性	【成果】 活動結果(活動指標等)に対し、事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか。	b:徐々に上がっている	
	評価の理由	民間委託により日曜収集もっており、申し込み後の待ち日数が他区より短縮されている。	
効率性	【コストの見直し】 現状と同等または現状より少ない経費で、区民サービスや職員・組織の質の向上を図る余地があるか。	a:更なる改善の余地はない	
	【民間活用の可能性】 業務委託や指定管理者制度などの民間活用によりコストを削減できる余地があるか。	a:更なる改善の余地はない	
	【事務の見直し】 事業の成果を維持しながら、事務手続きの見直しなどによる事務改善の余地があるか。	a:更なる改善の余地はない	
	評価の理由	民間委託により区民サービスの向上が図られているが、粗大ごみの増加により経費も増加傾向にある。	
適正性	【法令順守】 事業に直接関係する法令および個人情報保護、労務関係等の関連法規について理解したうえで、適正に事業を行っているか。	a:適正に行っている	
	【委託事業者との調整】 業務委託等を行っている場合、履行確認およびモニタリング等の実施により、適正な運営が確保されているか。	a:適正に行っている	
	評価の理由	個人情報の保護及び法令順守については適正であり、これまで問題は発生していない。	
事業の施策貢献度		★★★	

5. 総合評価			
今後の事業の方向性 (現状の評価および施策評価を踏まえた評価)	S:拡充 A:現状維持 A':改善・継続 B:改善・見直し C:縮小 D:終了	A:現状維持	
Dの場合		→	終了の理由
《上記判断の説明》			
粗大ごみは年々増加しているが、日曜収集の実施や収集車両の増車等により1週間程度の待ち日数での収集を維持している。			
《上記の判断に基づいた今後の具体的な対応・改善策》			
家具やベッド、電気製品、自転車等が軽量・安価・低寿命化し、粗大ごみとして排出される量が年々多くなっており、今年度は申し込みから収集までの待ち日数も10日前後に延びている。このため、委託料を増額し収集台数等を増加させる等の検討を進める。			

粗大ごみ収集経費

1. 事業の位置付け【基本計画(2016-2025)における位置付け】



2. 事業の概要

事業概要	単独・補助	区単独事業	事業開始年度	12年度
	運営形態	全部業務委託	他区の状況	23区中23区実施
これまでの経緯	<ul style="list-style-type: none"> 平成12年4月 清掃事業区移管 平成18年4月 粗大ごみ収集運搬業務委託 平成25年3月 金属系粗大ごみの資源化開始 			

3. 公会計情報

①貸借対照表

(千円)

勘定科目	29年度	30年度	増減	勘定科目	29年度	30年度	増減
資産	0	0	0	負債	0	0	0
土地	0	0	0	地方債	0	0	0
建物	0	0	0	その他負債	0	0	0
減価償却累計額	0	0	0	純資産	0	0	0
その他資産	0	0	0	純資産	0	0	0

資産科目の詳細	負債科目の詳細
資産計上なし	負債計上なし

②行政コスト計算書

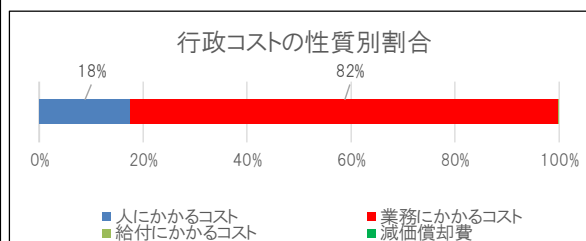
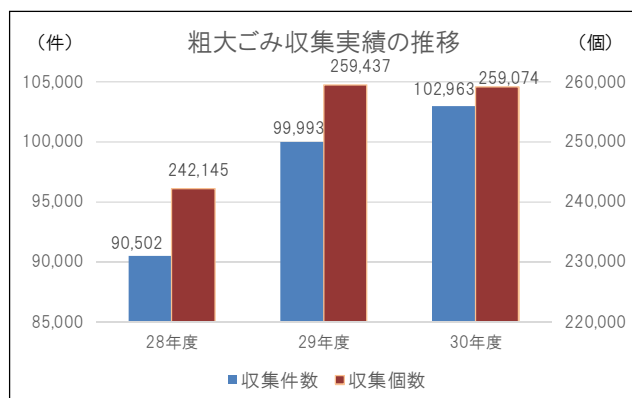
(千円)

勘定科目	29年度	30年度	増減	勘定科目	29年度	30年度	増減
コスト	280,971	283,318	2,347	収入	116,771	125,142	8,371
人にかかるコスト	52,252	49,800	△ 2,452	国・都支出金	0	0	0
業務にかかるコスト	228,651	233,440	4,789	使用料・手数料	69,755	75,794	6,039
給付にかかるコスト	68	78	10	その他収入	47,016	49,348	2,332
減価償却費	0	0	0	純行政コスト	164,200	158,176	△ 6,024

コストの詳細	収入の詳細
<ul style="list-style-type: none"> 【人にかかるコスト】本事業に携わる職員の給料、手当、引当金等 【業務にかかるコスト】粗大ごみの収集・運搬に係る委託料等 【給付にかかるコスト】粗大ごみ中継所の維持管理負担金 	<ul style="list-style-type: none"> 【使用料・手数料】ごみ処理券手数料収入 【その他収入】粗大ごみ中継業務に関する他区からの受託収入

4. 行政サービスの実績とコスト分析

取組事業の実績	指標	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (目標値)	30年度 (実績)	元年度 (計画値)
	収集件数	件	88,726	90,502	99,993	87,000	102,963	112,300
	収集個数	個	242,608	242,145	259,437	240,000	259,074	282,500



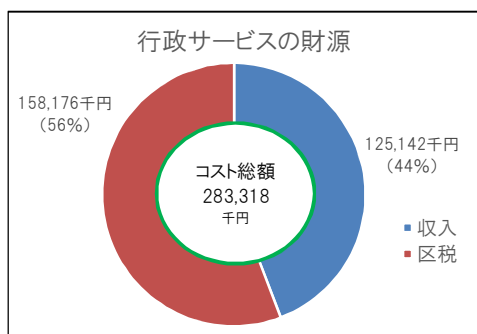
事業に携わる職員数

	28年度	29年度	30年度
正規職員	—	5.0人	5.0人
再任用職員	—	0人	0人
非常勤職員	—	0人	0人
再雇用職員	—	0人	0人
臨時職員	—	0人	0人

資産(土地・建物)の分析

資産の概要		
資産計上なし		
資産老朽化比率		(千円)
取得価格(A)	建物取得時に支払った額	—
減価償却累計額(B)	これまでの利用で償却した建物価格	—
現存価格(A-B)	現時点で残存する建物価格	—
資産老朽化比率(B/A)	当建物の老朽化の進み具合	—

5. 行政サービスの財源と単位当たりコスト



指標名	単位	年度	実績	単位当たりコスト (円)
収集量	t	28年度	2,013	—
		29年度	2,405	68,274
		30年度	2,429	65,120
収集個数	個	28年度	242,145	—
		29年度	259,437	633
		30年度	259,074	611

他自治体のコスト情報

【北区】清掃事業費(粗大ごみ収集)
 総事業費/粗大ごみ収集量 → 215,363千円/2,351トン = 91,605円
 総事業費/粗大ごみ受付個数 → 215,363千円/280,707個 = 767円
 ※ 北区HP掲載「平成30年度 事務事業評価シート」より

6. 公会計情報から見える課題と今後の取組について

副都心地域の豊島区では粗大ごみ中継に適した区有地等がないため選別、積替等の業務を委託業者の施設で行っている。豊島区内で発生した粗大ごみの収集件数は年々増加しており委託経費も増加傾向にあるが、手数料収入の増加が委託経費の伸びを上回り、30年度は収集量や個数の単位当たりコストが抑制される結果となった。行政コストの性質別割合では業務に係るコストが82%と大半を占めているが、このコストのほとんどが作業従事者の人件費と作業車両の借り上げ経費である。区職員の人件費も含めると、本事業のコストのほとんどが固定的な経費であり、委託業者と緊密に連携してこれらの資源を最大限活用し、区民の申込みから一週間程度で粗大ごみを収集できるよう効率的な事業運営を継続する。